

ふちゅう

プレスリリース

広島県府中市 情報提供

令和6年10月9日(水)

教育政策課文化財室

電話 0847-44-9024

第25回ふちゅう歴史フォーラム

「国府とは何か？」—備後国府の実像を探る— を開催します。

府中市の原点と言われる備後国府の現在までの研究成果を踏まえて、国府の基礎的な役割について整理し、地域社会において国府はどのような存在であったのか、国府や国司が地域社会にもたらしたものは何なのか、その実像に迫り、理解を深める講演会を開催します。

講演：「古代備後国府の実像」

佐藤 信 氏（東京大学名誉教授）



日時：10月13日(日)
13時30分～16時00分

場所：ジーベックホール中ホール（府中市府川町70番地）
YouTube「国府まろひめチャンネル」でのライブ配信あり

料金：入場無料

定員：100名

※詳細は、別紙案内チラシのとおりです。

第25回 ふちゅう歴史フォーラム

國府とは何か?

—備後國府の実像を探る—

府中市の原点と言われる備後國府。
そもそも國府とは何でしょうか?
国府では何が行われていたのでしょうか?



「古代備後國府の実像」
[講師] 東京大学名誉教授 佐藤 信氏

東大名誉教授が
備後國府の
実像に迫ります!

(文字出典 『和名類聚抄』 国立国会図書館デジタルコレクションより)

2024. 10.13 (日) 13:30 - 16:00 (受付開始 12:30) 定員 100名

ジーベックホール 4F 中ホール (府中市文化センター)
〒726-0004 広島県府中市府川町 70 番地

入場無料
事前申込み不要

YouTube
ライブで配信あり

配信用チャンネル
二次元コード



※当日は会場に配信用カメラが入りますので、会場参加の方が映り込む場合があります。あらかじめご了承ください。



スケジュール

13:30
13:40~15:10
15:10~15:25
15:25~15:50
16:00

開会
講演「古代備後国府の実像」
東京大学名誉教授 佐藤 信 氏
休憩
質疑応答
閉会

講師紹介

今日の県庁ともいえる
古代の備後国府は、
都と地域の間でどのような組織・
役割をもって活動していたのか、
実像をさぐります。



さとう
まこと
東京大学名誉教授 佐藤 信 氏

専門は日本古代史・文化財学。
東京大学大学院人文科学研究科で学ばれた後、奈良国立文化財研究所で日本古代の宮都や木簡・寺院史料の調査・研究に従事する。
その後は、文化庁文化財調査官、聖心女子大学助教授、東京大学文学部教授、東京大学人文社会系研究科教授を務め、2018年に東京大学名誉教授となり、2020年まで人間文化研究機構理事を務める。古代の宮都や国家財政史、木簡に代表される出土文字史料、史跡調査・文化財学に关心を持つ。現在は横浜市歴史博物館、くまもと文学・歴史館の館長を務める。

【主要編著書】

『日本古代の宮都と木簡』(吉川弘文館 1997年)
『出土史料の古代史』(東京大学出版会 2002年)
『古代の地方官衙と社会』(山川出版社 2007年)
ちくま新書『古代史講義』シリーズ(編著、筑摩書房 2018年~)
『日本古代の歴史6 列島の古代』(吉川弘文館 2019年)など

(図版出典 ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>) より)



ここに来れば備後国府の歴史がわかるのじゃ!

府中市歴史民俗資料館では、府中市内の発掘調査で発見された出土品を展示しています。なかでも府中のルーツでもある備後国府跡の関連資料を多く常設展示し、飛鳥~平安時代の復元衣装が展示に彩りを添えています。

また建物は、明治36年(1903)竣工の旧芦品郡役所庁舎として府中市指定重要有形文化財に指定されています。

ぜひご来館ください。



-ぐんじいプロフィール-

わしは、旧芦品郡役所庁舎じや。
明治生まれの121さい♪
「ぐんじい」と呼んでくれ!
今は歴史民俗資料館になったんじや。



府中市歴史民俗資料館

住所 広島県府中市土生町 882-2
電話 0847-43-4646
休館日 祝日を除く月曜日
12月29日~1月3日
開館時間 午前10時~午後5時

ここには、
備後国府跡の発掘調査で
出土した品がもりもりあるのじゃ。
復元衣装も見れるのじゃ。

